

地域のリサイクル情報誌

『ヴェーナス通信』



商標登録第 4882482 号

Venus (静脈) Venus (護美の女神)

第94号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
 理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
 東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 65
 TEL : 042 - 395 - 9788
 FAX : 042 - 395 - 9787



私たち資源回収の仕事は、市民生活に欠かせない業務であり、エッセンシャルワーカーとして認識して頂いています。夏の猛暑の中はもちろん、雨の降る日も、強風で紙類が飛ばされる中でも資源回収を行っています。雨の日には、資源物の出る量が半分くらいになってしまいますが、その次の回収は1.5倍の資源物が出されるため、いつもより時間がかかります。年末年始など回収がない週を挟むと、時期的に発生量も多いので、車両を増車し、それでも暗くなるまで必死になって仕事を終わらせています。市民の皆様からは、まだ回収に来ないのかとお叱りのご連絡を頂くこともあり、ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありません。

市民の皆様のご生活にも十分配慮しながら作業をしていますが、作業員も人間ですので、判断ミスをすることもあります。見落としをしてしまったり、置き配の荷物を間違えて回収してしまったり。狭い道で積み込みをすることもあるので、他の通行車両とのトラブルが起きてしまうこともあります。住民の皆様、すれ違う人も

車もみんな市民(=お客様)のつもりで、最大限配慮しながら作業をしています。そして、お叱りを受けた際には、素直に謝罪し、改善を促すようにしています。

そんなに大変な仕事なんだ!と思うかもしれませんが、確かに楽な仕事ではありません。ルートを覚えて、車から乗ったり下りたり、時には重い荷物を持ち上げたり。看板を背負っているので、休憩場所にも気を使います。コンビニで昼休みを取っていると、長時間駐車だと注意されることもあります。

それでも、100名近いドライバーさんがこの仕事に長く勤めて頂いているのは、市民の皆様が出された資源物、紙きれ1枚、洋服1着さえ大切にリサイクルして地球環境保護に貢献しているという誇りがあるからです(だと思います。)そして、自分以外にも同じように大変ながらも頑張っている会社やTEAM 東多摩の仲間がいるからです。

対面での業務ではないので、普段はお客様の顔が見えない仕事です。ただ黙々と家の前に出されている資源物を分別しながら積み込みをしている中で、市民の皆様から『いつもご苦労様です、ありがとうございます』そんな何気ないお声がけを頂くと、人のお役に立てる仕事が出来てよかったと心から嬉しくなります。明日からまた頑張ろう!そんな気にさせてくれます。

大変だけど、人と地球に貢献できるやりがいのある仕事、そんな資源回収のドライバーになってみませんか?(TKO)

●ヴェーナス通信94号 目次●

- P1…資源回収のしごと
- P2…直言拝聴『地域から進める資源循環の未来へ』東多摩再資協 特別顧問 谷村孝彦
- P4…リデュース・リユース・リサイクル 組合活動よもやま話(3)
- P5…リサイクル掲示板『リサイクルに関する質問にお答えします』
- P6…東資協新年会、青年部総会、東リ協会リサイクルフォーラム・西東京市廃棄物減量推進委員会
議・ゆるきゃらまつり・雑がみ掘り起こしイベント・春～夏のイベント出展予定
- P8…組合の安全・品質管理について、行事・行動、編集後記

直言拝聴 『地域から進める 資源循環の未来へ』



東多摩再資源化事業協同組合

特別顧問 谷村 孝彦様

● 地域に根ざした都政二十四年と 資源循環への歩み

皆様のご支援を賜り、六期二十四年にわたり東京都議会議員として活動させていただきましたことに、衷心より御礼申し上げます。この間、東村山駅周辺の連続立体交差事業の「新宿線下り」の実現をはじめ、多摩北部医療センターの総合病院化、東大和市の広域

雨水幹線整備、リビングテラス東大和やサッカーグラウンドの開校、同市への都立特別支援学校の開校決定、多摩湖中央の堤体道路の拡幅と歩道設置、さらには箱根ヶ崎への多摩都市モノレール延伸開業時期の決定など、徹して地域の暮らしに都政の光を届けるべく取り組ませていただきました。

そのような中、三回目の当選直後の二〇一三年九月より、東多摩再資源化事業協同組合の特別顧問を務めさせていただいております。地域の皆様に最も身近な資源循環活動を担う同組合で、長年にわたりご指導をいただいてまいりましたことは、私にとって大きな誇りであります。

● 「資源循環」との出会い——わがライフワークの始まり

私が「資源循環」や「環境」を政治的テーマとして強く意識するようになったのは、二〇〇七年に都議会環境建設委員長を拝命し、全国初となる事業所も対象としたCO₂排出量削減義務化条例の制定に取り組んだことが契機でした。初当選の二〇〇一年に施行された「循環型社会形成推進基本法」を受け、「ゴミ、ゼロ社会の実現」は東京にとって喫緊の課題でした。



以来、環境政策は私のライフワークとして位置づけられてきました。二〇一四年八月、当時の都知事

とともに東村山浄水場を視察した際、場長が覆蓋施設への太陽光パネル設置を誇らしげに説明されていた姿が印象的でした。現在では最大約二八〇kWh/日を発電するまでに至り、都の施設における再エネ活用の象徴的な取り組みとなつていきます。

● 変わりゆく時代——「環境」が 最優先される社会の新常态

都政において「環境」が最重要課題として明確に位置づけられたのは、二〇一六年の小池百合子都知事の誕生からといえます。環境相時代に提唱されたクールビズは、

現在では服装だけでなく働き方も含めた取り組みとして定着し、今年都庁では四月から前倒しで“新クールビズ”が始まり、テレワークや早朝勤務の推進などもその一環とされています。コロナ禍を経てライフスタイルやワークスタイルも大きく変化し、さらには「酷暑」が気象庁の正式用語となるほどの気候変動の中で、社会全体が新たなスタイルを模索しています。

私事ではありますが、昨年五月に独立して国分寺に法律事務所を開設した息子が、法廷だけではなく、司法試験を目指す後輩たちのために現在も母校で教壇に立っています。ただ一人カジュアルスタイルで講義をしていると聞きました。旧来の型にとらわれず、柔軟に時代を捉えようとする姿勢が学生たちの共感を呼んでいるようです。

また、私が都議会警察消防委員長を務めていた二〇二四年には警視庁でも活動服のネクタイが不要となりました。私は今後ともさらに、さまざまな分野で服装等の柔軟化が進むべきだと考えています。

●世界規模の環境戦略と「足元の身近な課題」を繋ぐ

東京都は、世界都市に気候行動を呼びかける「TIME TO ACT」や、世界大都市の脱炭素ネットワークC40、国連のUNEP-ETC国際諮問委員会など、地球規模の環境対策を積極的に推進しています。

一方で、私が議員活動の総仕上げとして力を注いだのは、最も身近な環境課題である「家庭ごみの資源循環」でした。東京都は産業廃棄物を所管し、一般廃棄物は市区町村の責任とされています。そのため、都議会で一般廃棄物の収集・運搬・処理等が議論されることはほとんどありませんでした。しかし、都内業界団体からご要望を受けられた竹谷とし子参議院議員が、二〇二四年に国会で一般廃棄物事業の委託料適正化を取り上げたことを契機に、環境省から都道府県知事宛てに通知が発出され、都から市区町村へも適正化の徹底が正式に求められました。

●委託料の適正化を断行し、現場の誇りを支えるために

この動きを捉え、私も都議会環境建設委員会で一般廃棄物事業者への委託料の問題を取り上げまし

た。調査の結果、多くの市区町村で委託料が不当に低く抑えられていた実態が明らかになりました。私は、①市区町村の予算見積もり方法の見直し、②指名競争入札の廃止、③東京都による原価計算マニュアルの作成と活用促進、④自治体への財政支援、⑤都に官民を対象とした相談窓口の設置などを求め、都はこれらすべてに取り組みんでくださいました。

都ごみ処理委託料調査へ

区市町村対象 物価高反映せず契約か

2024年(令和6年)11月6日(水曜日) 言宣 電 衆

自治体が業者に委託している家庭ごみの処理業務を巡り、都が近く、区市町村を対象に業者との契約内容について実態調査を行うことがわかった。物価上昇分を反映させない価格で業者に委託するなど不適切な契約が結ばれている可能性もあるため、適切な価格での契約が図れるよう、自治体への財政支援も検討する。

区市町村では、委託料の取集・運搬・処理は法律で市町村の責務と定められている。国は業務委託する場合は、原材料費や人件費など最新の実勢価格を踏ま

えて業者と契約を結ぶことを市町村に求めている。だが、6月に国会で物価上昇分が委託料に適正に転嫁されていないと問題視された。都内でも業界団体が都市長会に対して、諸経費の値上がりなどで経営が困難になっているとし、適正な委託料算定を求める要望書を出した。

都の調査では、委託料を業者から聞き取らずに算定したり、価格競争を招く指名競争入札を行ったりし、価格設定が不適切とみられる自治体が複数あることが判明。都は改めて区市町村

を対象に、処理業務の委託に関する契約方法や見積もり方法を調べることにした。不適切な契約が確認された場合は、実勢価格を踏まえたものに変更するなど改善を求めるという。

都は10月31日の都議会環境・建設委員会で、谷村孝彦都議(公明党)の質問にこれらの方針を明らかにした。さらに、適切な委託料にすると市町村の財政負担が大きくなることへの対応を問われると、都幹部は財政的な支援についても検討していく」とも答えた。

町村の所管外の幹部職員まで問題意識が共有され、改善に向けた動きが一気に広がりました。改めて、マスメディアの影響力の大きさを痛感した次第です。

令和七年度の委託料からは、少なからぬ市区町村で改善が進んでいます。しかし、改善の兆しは見えてきましたが、まだまだ道半ばです。現場の皆様が安心して事業を継続できるように、引き続き全力を注いでまいります。

●資源循環の理解を広げる発信力と現場を支える使命感

「ペン」は剣よりも強し」との言葉の通り、ヴィーナス通信は資源循環の理解促進に大きな役割を果たしてこられました。今回で九十一号を迎えられたことに、心より敬意を表します。

地球規模の気候変動に対応するための高度な

●持続可能な地域社会の未来を支える皆様とともに

昨年十一月には、廃棄物のリサイクルを「単なる処理」から「付加価値の高い資源化」へ引き上げる「資源循環高度化法」も施行され、新しい時代が始まっています。

資源循環は、地域の暮らしを守り、未来をつくる基盤です。東多摩再資源化事業協同組合の皆様が日々積み重ねてこられた活動は、地域の持続可能性を支えるかけがえのない取り組みです。

特別顧問として、これからも皆様とともに歩み、地域資源循環のさらなる発展に微力ながら尽力してまいります。

引き続きのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

リデュース・リユース・リサイクル 組合活動よもやま話(三)

前号では、ゴミ減量運動と資源回収事業推進の狭間で、大量の余剰在庫に苦しんだ状況を記したが、当時の業界状況をステージ4の癌患者と揶揄したことを思い出す。(癌II品物が山となってヤマイダレ) そんな時期に地元組合周辺にも新たな問題が起こった。

◎昭和五六年一〇月、大手新聞社の販売店が、購読者に対し、新聞古紙一ヶ月分とトイレットロール6〜7個を交換する回収を始めた。当時新聞以外の古紙は、回収しても全く採算が取れない市況だった。その新聞古紙だけを、読者拡張を目的に突然自主回収し始めたのだ。製紙工場も、洋紙の大手ユーザへの荷であり最優先で荷受けした。市民団体との集団回収への影響や末端業者はどうなるのか？

新聞以外の段ボールや雑誌雑がみ古布類等は誰がどのように回収すると言うのか？

東資協は「即時中止」を求めて抗議したが、その後他の新聞社も対抗回収を始めたため、チリ交員ら三〇〇名と共に新聞各社にデモ行進し、その暴挙を訴えた。

斯くして、太田原日資連顧問の仲裁のもと新聞本社・販売店・関東

資源回収連合会(関資連)の各代表で協議会を作り、議論を重ねた結果、「集団回収実施地区は回収しない、民間回収機構の健全化と資源リサイクル事業の向上に協力する」などの条件のもと和解した。販売店回収は、関東地区の一部に留まり、集団回収も概ね継続出来たが、小規模業者やチリ紙交換員は、壊滅状態となった。

我が田無支部は、廃業三社・販売店回収反対派一七社と販売店回収に参加四社が分裂し、五年間も袂を分かつことになってしまった。そんなある日、自治労が『家庭系再生資源物全体の自治体回収』を企画していることを聞いた。専ら物回収は、民間のリサイクル事業者の仕事となっていたが、びん・缶などの回収経費は、すでに自治体の清掃コストに頼っていた。だが、びん・缶の十数倍発生する古紙・古布類の回収まで公共事業に組すれば、江戸の昔から続いた民間主導の資源循環システムが完全に崩壊してしまうだろう。

我々回収業界が続けて来たこの活動こそ、最も低コストで高品質の再生資源を提供できるシステムであり、崩壊させてはならない。早急に地元リサイクル事業の受皿となる独自の地域協同組合の設立

を急がなければならぬ。

◎昭和六一年九月、分裂支部を合併し二〇社が参加して支部名も『東資協・東多摩支部』とし再出発した。同時に新たな地域組合設立に奔走した。

平成二年五月、東資協副理事長に就任したその八月、「TAMARAいふ」協会「設立準備委員」になった。

その最初の会議で、「多摩地域に古紙古布を含むリサイクルセンターの設立準備中」との報告があった。(自治労の企画は本当だった)

我が支部の真ん中にある柳泉園組合(田無・保谷・清瀬・東久留米市の清掃施設)のリサイクルセンター建設も決定し、びん・缶・ペットボトル他、古紙・古布までを、回収から選分プレス加工さらにメーカーへ納入まで官営モデル事業で実施することだ。

公有地に、都の予算数十億円でセンターを建設し、回収などの経費は各市の清掃事業予算で運営するリサイクル事業が始まれば民間事業者はどうなるのだ。当地には、我々支部員が所有する回収員百数十人や古紙処理ヤードが六か所も稼働しているのに・・・？

TAMARAいふ」協や都清掃局と二年半、必死の折衝を続け、市

民やマスコミ・都政新報にも訴えて、センター運営と資源物の回収や流通業務の受注を要望した。

◎平成五年七月、待望の『東多摩再資源化事業協同組合』を設立。同時に、柳泉園や小平市のリサイクルセンター施設管理、関係六市の古紙古布の回収事業やその受け入れ流通など、地産地消のリサイクル事業を、新組合が受注した。

時期を同じくして二三区でも、清掃事業の都から区への移管が決定し、各区の東資協支部が主体で実施していたリサイクル事業にも大きな変革を迫られた。

特に品川区には、都の予算で古紙・古布類の大井ストックヤードを建設し、その運営と回収事業を区が実施することだった。

本件も柳泉園センターと同時進行していたため、東資協第一二代津田理事長・第一三代河内理事長と引き継いで四年余り、都清掃局と折衝を重ねて、東資協本部が施設管理を受注することで決着した。

◎古紙類の余剰化は今、輸出事業の拡充や国内利用率の向上、デジタル化などで紙の使用量も減少しているが、まだ二千万トンからの紙・板紙の消費がある。この貴重な地球の宝を、我々は絶対無駄にしてはならない。顧問(こんの)

リサイクル掲示板

リサイクルに関する質問に答えます！

今回のリサイクル掲示板では、資源回収における素朴な疑問にお答えします。なお、分別の仕方などは、自治体毎に異なる場合がありますので、お住いの自治体のごみ・資源の出し方も併せてご確認ください。

Q1. 雑がみって具体的にはどのようなものですか？

A1. 雑がみとは、**新聞、段ボール、雑誌、牛乳パック以外のリサイクルできる紙のこと**です。具体的には、お菓子やティッシュの箱、トイレトーパーやラップの箱や芯、包装紙、投込みチラシ、パンフレット、コピー用紙、お菓子などの包装紙、メモ用紙、ノート、封筒、手紙、紙袋などのことです。

汚れた紙、臭いのついた紙その他リサイクル出来ない禁忌品は混ぜないようにお願いします。



Q2. 古紙に出す時、ホッチキスやテープは取らなくてはいけませんか？

A2. **ホッチキスで綴じた書類や冊子、段ボールのテープなどはそのまま出しても大丈夫**です。大きなクリップやバインダーの金具などは外して下さい。

Q3. 市の資源回収と同じ日に新聞販売店の回収があると連絡がきました。どんなことに注意したらいいですか？

A3. 市の資源回収の日にルール通りに新聞などの古紙が出されていれば、私たちは普通に回収します。**新聞販売店の回収に出した新聞には、必ずチラシを上に乗せる、市で回収する雑誌・雑がみ、段ボール、古布とは離して出す**など、回収員が区別できるようにして下さい。



Q4. 以前のヴィーナス通信で置き配の誤回収があることを知りました。間違って回収されないようにするためにはどうすればいいですか？

A4. 資源回収の日に置き配の荷物を古紙の近くに出されると、回収員が間違って回収してしまう恐れがあります。置き配は玄関ドアの脇に置かれることが多いので、古紙を玄関近くに置いておくと間違いのもとになります。**古紙・古着は、敷地内の道路から見える場所であるべく玄関から離して出して下さい。**また、**宅配ボックスの設置をして頂くと間違いありません。**



Q5. 書道の半紙はリサイクル出来ますか？

A5. 紙（洋紙）の原料は松や杉などの針葉樹パルプとユーカリやブナなどの広葉樹パルプを原料に作られています。一方、和紙はコウソウやミツマタなどの植物の皮を原料にしています。原料が異なりますので、一般的な古紙のリサイクルには、和紙は出せません。**半紙も同様に、古紙としてはリサイクル出来ません。**

東資協新春賀詞交歓会に参加

去る二月七日(土)、ホテルグラ
ンドヒル市ヶ谷で東京都資源回収
事業協同組合の新年会が開催され
ました。

今回の東資協の新年会は、顧問
及び東京都産業労働局及び環境局
の局長以下担当者の方々を来賓に
お迎えし、東京都内の各地域組合
の代表者と組合員の情報交換、意
見交流の場として開催されました。
東多摩支部からも組合員及び青年
部員が参加し、ご来賓を始め各地
域の皆様と交流することが出来ま
した。



新年会で受付や設営など裏方で活躍する吉浦青年部長率いる青年部の集合写真

東資協青年部第三三回通常総会

去る四月二六日(木)新宿のい
けす無門にて、東資協青年部第三
三回通常総会が開催されました。
上村副理事長始め親会からの来賓
のご臨席の元、総会の議案は全て

満場一致を以って承認され、新し
い青年部長に足立支部の松本一幸
さんが就任することになりました。
令和六・七年度一期二年にわた
って第一〇代青年部長を務めさせ
て頂きましたが、無事、後任に引
き継ぐことが出来ました。この二
年間、青年部創立三〇周年記念の
節目の年でもあり、海外視察研修
や三〇周年記念誌の編集、新規事
業プレゼン大会、SNS活用勉強
会など様々な事業を行うことが出
来ました。これもひとえに関係各
位の皆様のご指導ご鞭撻の賜物で
あり、心より感謝申し上げますと
思います。

また、総会の懇親会の中で、三
月末で二五年間の青年部生活を全
うされた紺野琢生さんの卒業のお
祝いもさせて頂きました。当日ご
欠席でしたが、金子日資連青年部



吉浦青年部長の退任、紺野青年部OBの卒業おめでとうございます！

長と星野関資連青年部長からお花
のプレゼントも贈られ、盛大に送
り出すことが出来ました。

東資協青年部には、私の他、水
野敬一さん、大久保一さん、息子
の龍之介の四名が在籍しておりま
すが、業界の発展のために引き続
き頑張つて参りたいと思います。

東リ協会リサイクルフォーラム・陽春の集い

去る三月二三日(月)ホテル東
京ガーデンパレスにて、公益社団
体法人東京都市リサイクル事業協会
のリサイクルフォーラムと陽春の集
いが開催されました。当組合から
吉浦理事長、福田副理事長、紺野
専務理事、水野理事、小畑理事が
参加しました。

リサイクルフォーラムでは、環
境省廃棄物適正処理推進課三ツ俣
光平氏から『一般廃棄物処理業務
における労務費等の適正な転嫁に
ついて』、東京都環境局資源循環推
進部一般廃棄物対策課長大谷貴嗣
氏から『一般廃棄物収集運搬業務
における働き方改革に向けた取組』
と、昨年来業界で取り組んでいる
行政委託収集業務における委託料
の適正化、回収作業員の労働環境
の改善につながるテーマで、多く
の業界関係者が講師の話に真剣に



回収作業員の労務費の適正化、働き方改革のため、多くの関係者が参加しました。

耳を傾けました。
フォーラム後に開催された陽春
の集いでは、飲食を交えながら参
加された皆様と交流することが出
来ました。

当組合としても、回収ドライバ
ーの採用や労働環境改善に苦慮し
ている中で、本年度はこの課題に
しっかりと取り組んでまいりたい
と考えております。

西東京市廃棄物減量推進員会議で講演しました。

去る二月一八日(水)、西東京市
エコプラザ多目的室にて、廃棄物
減量推進員会議が開催されました。
市より古紙の分別と禁忌品につ
いての講演依頼を受け、私と紺野専
務理事で対応させて頂きました。
パワーポイントを利用して古紙の
分別と禁忌品について説明をした
後、グループごとに分かれたテー

ブルに雑がみや禁忌品のサンプルをランダムに置いて、市民の皆様実際にリサイクルできるかできないか分別をして頂きました。

日頃市民にごみや資源の排出に関する指導や啓発活動を行っている皆様です、悩みながらもちゃんと分別して頂き、また鋭い質問をいろいろ頂きました。(福田)



古紙の分別と雑がみの掘り起こしについて講演しました

**東村山ゆるぎゃら大集合
まつりで段ボール工作体験**

去る三月一日、東村山市のエネルギー給油所跡地にて東村山ゆるぎゃら大集合まつりが開催されました。東村山だけでなく他市のゆるぎゃらも大集合するという事で子どもから大人まで沢山の方が来場されました。

当組合では、段ボール工作を子ども遊びコーナーにて実施しました。

ご家庭で不要になった段ボールをたくさん用意して思いのままに工作してもらい段ボールハウスや迷路で狭いスペースはすぐにつばいになっていました。子ども達の想像力やエネルギーには驚かされました。

作った段ボールは、子どもたちに潰して小さくしてもらい、またリサイクルをして新しい段ボールになる事を伝えました。資源の大切さを学んでもらうことが出来、大盛況に終わりました。(廣住)



段ボールで自由に工作して頂きました。

古紙再生促進センターと協力し、『雑がみ』の掘り起こしのための活動を行っています

前号で紹介した通り、市民の皆様が出された可燃ごみの中には、リサイクル出来る紙類がまだ5%程度は選別されずに混入している

と考えています。

貴重な紙資源をごみにせずにつかりとリサイクルしていくために、当組合では公益財団法人古紙再生促進センターが進めている『雑がみさまを探せ!』キャンペーンに賛同し、協力をして頂きながら、『雑がみ』としてリサイクル出来る紙類の掘り起こしを進めています。

五月十日(日)に開催された小平市環境グリーンフェスティバルでは、古紙再生促進センターからお借りした射的&分別ゲームを実施しました。射的で当てた古紙を別ブースで正しく分けてもらうという楽しく学べるゲームです。参加してくれた子供たちにお菓子とパンフレットなど資料を入れた雑がみ回収袋をプレゼントしました。通常の倍の資料を用意してしま



射的で当てた古紙を分別します子供たちは、雑がみと紙パックのどちらかで悩んでました

○春から夏にかけての組合出展イベント○

- ①5月25日(月)13:30~15:30
小平市リサイクルきゃらばん
(雑貨及び牛乳パックの無料回収)
- ②6月7日(日)10:00~15:00
東久留米市環境フェスティバル
(射的&分別ゲーム、雑貨の無料回収)
- ③6月15日(月)13:30~15:30
小平市リサイクルきゃらばん
(雑貨及び牛乳パックの無料回収)
- ④7月25日(土)9:00~14:00
きよせの環境・川まつり
(射的&分別ゲーム、雑貨の無料回収)

たが、昼過ぎには全て完了してしまいうくらい大盛況でした。

今後各市で開催されるイベントにおいても、お子様向けのゲームイベント、パネル展示、雑がみ回収袋及び資料の配布を行います。

『雑がみ』とは、新聞、段ボール、雑誌、牛乳パック以外のリサイクル出来る紙のことで、お菓子やティッシュの箱、包装紙、コピー用紙、封筒、パンフレット、トイレットペーパーの芯などのことです。皆様も、ご家庭で『雑がみさま』を探してみませんか?

まずは、各市のリサイクルイベントでお待ちしております。

法令遵守、安全及び品質管理のため、初任運転者教育、共同受注検査などを実施しています

組合では、委託業務の安全と品質を管理し、法令や委託仕様書などの遵守を徹底するために、運転者教育や内部監査を定期的に実施しています。

運転者教育としては、年二回の安全講習会と初任運転者教育などを実施しています。初任運転者教育では、組合員各社の運行管理者十名の協力を得て座学と実車を用いた教育訓練を行います。



各社に新人ドライバーが入社する毎に、1日ばかりで初任運転者教育を実施します。

内部監査制度としては、官公需適格組合の認証登録の裏付けとなる官公需共同受注検査を定期的の実施しています。各社から推薦された検査員が他社の車両、人員について検査を行い、不適合があれば指摘を行います。検査員も立場が変われば検査を受ける側でもあ

り、模範ドライバーであることが求められるため、教育訓練の一環にもなっています。



回収作業開始前に集まり、検査活動を実施しています。

行事・行動

【二月】

- 三日：共同受注検査(西東京)
- 四日：共同受注検査(東村山市)

- ：小平市廃棄物減量審
- ：小平RC責任者会議
- 七日：東資協新春賀詞交歓会
- 九日：小平RC関連JV会議
- ：定例理事会

- 十三日：東資協理事会
- 十六日：東村山市廃棄物減量審
- 十七日：清瀬市廃棄物減量審
- 十八日：西東京市廃棄物減量推進員会議
- 二〇日：飲料用紙パックリサイクル促進意見交換会

【三月】

- 三日：小平RC責任者会議
- 九日：定例理事会
- 十日：小平RC関連JV会議

- ：東リ協会理事会
- 十一日：東京都環境局 市区町村との共同検討会議勉強会
- ：労務に関する助成金講習会

- 十三日：東資協理事会
- 十六日：財務委員会
- ：業務・集団回収委員会

- 十八日：東大和市廃棄物減量審
- 二一日：日資連理事会
- 二二日：小平市長市政報告会
- 二三日：東リ協会リサイクルフオラム・陽春の集い

- 二五日：東村山市収集業者会議
- 二六日：東資協青年部臨時総会
- 三〇日：古紙センター理事会

【四月】

- 三日：小平RC責任者会議
- 十日：東資協拡大理事会
- 十三日：財務委員会
- ：定例理事会

- 十四日：小平RC関連JV会議
- 十八日：日資連理事会
- 二〇日：業務・集団回収委員会
- 二二日：東村山市収集業者会議
- 二四日：共同受注検査(全車検査)
- ：東資協青年部総会

【五月】

- 一日：共同受注検査(東久留米)
- 四日：共同受注検査(東村山市)
- 五日：小平RC責任者会議

- 六日：共同受注検査(東村山市)
- 八日：西東京市廃棄物減量審
- ：東リ協会理事会
- ：東資協理事会

- 十日：こだいら環境グリーンフェスティバル
- 十一日：定例理事会

- 十二日：小平RC関連JV会議
- 十三日：共同受注検査委員会
- ：東多摩再資協青年部総会
- 十四日：小平市廃棄物減量審
- 十六日：日資連理事会
- ：東資協通常総会

- 十八日：業務・集団回収委員会
- 二五日：小平リサイクルきやらばん
- 二九日：東多摩再資協通常総会

編集後記

谷村様、特別顧問のご就任と直言拝聴へのご寄稿ありがとうございます。組合としても、困難な時代を乗り切っていくために引き続きご指導ご鞭撻を賜りたく存じますので、よろしく願います。さて、イラン情勢による石油製品不足の影響は資源業界でも出てきております。業界によっては資材の供給が遅れていて作業に支障が出ているところもあるようですが、資材の取り合いや買い占めなどパニックにならずに冷静に対処していきたいと思えます。リサイクルを止めないために。(TKO)